国際物流をデザインするエーアイテイー

株式会社エーアイテイー

第35期 中間報告書

2021年3月1日～2021年8月31日

証券コード 9381

ベトナム ホーチミン港

代表取締役社長 矢倉英一

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
さて、ここに第35期(2022年2月期)
第2四半期(累計)の
業績について
ご報告を申し上げます。

第35期(2022年2月期)第2四半期(累計)の連結業績について

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、社会経済活動が大きく制限されるなど厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況となっております。当社グループを取り巻く事業環境としても、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、物流そのものへの大きな影響はないものの、長引く外出自粛により、個人消費も一段と厳しさを増すことが懸念され、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、新規顧客の開拓と既存顧客との取引深耕を推進し、主に中国や東南アジアから日本への輸入海上輸送の貨物集荷に注力してまいりました。さらに、通関や配送、検品・検針・加工業務といった輸出入の付帯業務の更なる受注獲得を目指し、精力的な営業活動を展開してまいりました。当第２四半期連結累計期間では、前年同期に比べてアパレル関連製品の取扱いは僅かながらも回復基調にありましたが、外出自粛の影響から消費の低迷は続いております。一方で、巣ごもり消費の拡大から生活雑貨や家電製品等の取扱いは伸びており、堅調さを維持しております。

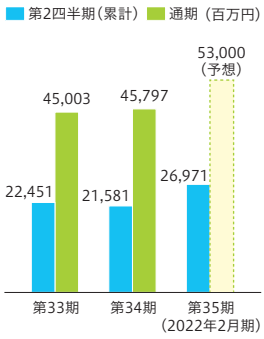
これらに加え、当社グループの主力ビジネスである海上貨物輸送では、昨秋以降、海上コンテナの不足等により、当社グループで取扱う海上輸送の一部航路でも海上運賃が高騰し、今も高い運賃水準となっています。この状況下、当社グループでは、取引先への安定した国際輸送サービスの提供に努めてまいりました。この運賃水準の上昇は、当第２四半期連結累計期間での業績拡大、収益向上の追い風ともなりました。

また、販売費及び一般管理費では、継続して見直しや削減を図ることで、利益の創出を図ってまいりました。

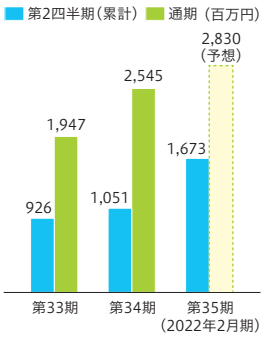
これらの結果、当第２四半期連結累計期間における営業収益は26,971百万円(前年同期比25.0%増)と前年同期を大きく上回りました。また、営業収益が好調に推移したことにより、営業利益は1,533百万円(前年同期比73.5%増)、経常利益は1,673百万円(前年同期比59.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は974百万円(前年同期比36.1%増)といずれも前年同期を大幅に上回ることとなりました。

業績ハイライト

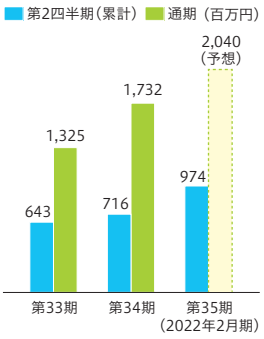
営業収益



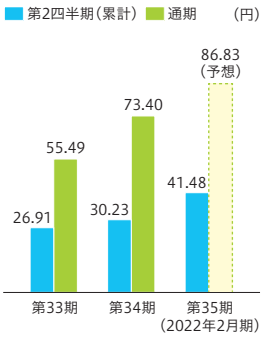
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科　目	前期末 (2021年2月28日現在)	当第2四半期末 (2021年8月31日現在)
流動資産	16,853	**17,656**
固定資産	4,777	**4,339**
資産合計	21,630	**21,996**
流動負債	7,764	**4,690**
固定負債	1,634	**4,294**
負債合計	9,399	**8,984**
純資産合計	12,231	**13,011**
負債純資産合計	21,630	**21,996**

配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社では、配当による更なる利益還元を推し進め、連結配当性向60%の実現を目指したいと考えております。この方針と2021年2月期の業績動向を踏まえ、1株当たりの年間配当金につきましては、4月発表の配当予想の40円から4円増配の44円といたします。

なお、配当予想の修正（増配）については、2021年8月20日付の適時開示でもご案内しておりますので、そちらもご参照ください。

DXの推進について

輸入貨物の国内の配送依頼から納品までをクラウド上で行うサービスを開発しました。

これまで、配送依頼は、電話で「いついつ、どこそこまで配送できますか？」とその都度そのタイミングでドレージ（海外から輸送されたコンテナの荷物を出さずにそのまま陸送することをいいます。）を手配するという形で行っていました。そのため、依頼まで時間がかかったり、互いの情報共有のタイミングが遅れて何度も確認作業を行ったがために配送手配が後手になったりする事がありました。

新サービスは、あらかじめクラウド上に公開された貨物の情報（貨物の種類、配送先、配送日等）を各配送会社が確認し、配送会社側から「配送できる」という回答が得られるようになるというものです。そのため、手配までの時間を短縮するとともに、タイミングが合わずに配送の手配が遅れるということも格段に減少することが見込まれます。

現在、このサービスの対象は、大阪港及び東京港から配送される貨物を対象としておりますが、今後は、日本の主要港に広げていく予定です。

日新運輸・AIT・AITの香港現地法人3社連合の新サービス

AIR&SEA バングラデシュ ハイブリッド・プレミアムデリバリー

グループ各社の強みを活かしてバングラデシュから香港まで航空輸送し、香港から東京港/大阪港まで海上輸送する複合輸送サービスを開発しました。

航空輸送×海上輸送

海上輸送より早く

約3週間かかる海上輸送に比べて約12日間で輸送可能です。納期短縮につながります。LCL貨物（コンテナ一本分を満たせない小口貨物のことをいいます。）は香港からAIT自社混載へ接続します。

航空輸送より安く

航空輸送はダッカ空港から香港空港までの区間となるので、日本までの航空輸送費に比べお安くなります。

安定したサービス

海上輸送では本船積替が発生し、フィーダー船（主要港から地方港へ輸送を行う際に使用する小型コンテナ船のことをいいます。）から本船への接続が間に合わず遅延するリスクがあります。本サービスではそのリスクはありません。

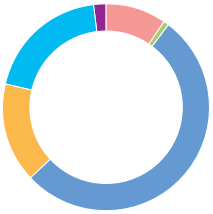
株式に関する情報

（2021年8月31日現在）

発行可能株式総数	53,856,000株
発行済株式総数	23,913,600株（自己株式419,975株を含む。）
株主数	7,438名

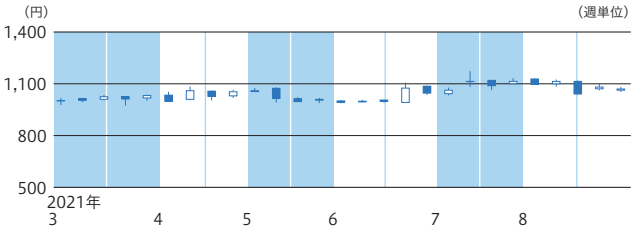
所有者別株式分布状況

（2021年8月31日現在）



金融機関	9.68%
金融商品取引業者	0.65%
その他の法人	52.69%
外国法人等	15.45%
個人・その他	19.78%
自己名義株式	1.75%

株価動向



会社概要

（2021年8月31日現在）

社名	株式会社エーアイテイー
英文社名	AIT CORPORATION
本社	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階 TEL.06-6260-3450（代表）
設立	1988年2月
資本金	271,140,311円
従業員数	1,129名（連結）、314名（単体）
事業内容	貨物利用運送事業（外航海運・国際航空貨物・貨物自動車・鉄道・内航）、航空運送代理店業、通関業、倉庫業、海運仲立業、損害保険代理店業、コンテナその他輸送器具の販売並びに輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

取締役及び監査役

（2021年8月31日現在）

代表取締役社長	矢倉　英一	社外取締役	松田　佳紀
常務取締役	馬上　真一	社外取締役	成田彦一郎
取締役	大槻　信夫	常勤監査役	倉本　基洋
取締役	川峯　寛	社外監査役	西島　佳男
取締役	久林　融	社外監査役	三村　淳司
取締役	神宮司　孝		

株式会社エーアイテイー　大阪本社：〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階
Tel. 06-6260-3450（代表）

UD FONT